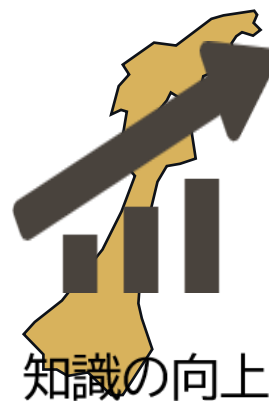


精神科治療委員会

主な活動内容

現在、国内では「精神科にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が進められており、精神科医療の中心は入院から外来診療へとシフトしています。さらに高齢化の進展や医療技術の向上に伴い、今後はあらゆる医療機関で、精神症状や認知症を抱える患者さんへの対応が一層重要になるものと思われます。「精神科の薬は苦手」と言っていない状況です！

精神科治療委員会では、精神症状や向精神薬をテーマに、幅広い医療機関の薬剤師の皆さまにとって、有意義かつ実践的な研修会の開催を目指しています。精神科医療に積極的に関わる薬剤師が増えることは、患者さんへのより良い支援につながると私たちは考えています。



過去の活動実績

当委員会では、各年度に概ね2回の研修会を主催しています。研修会では、会員施設の薬剤師による活動報告や症例・研究発表に加え、外部講師を招いた講演などを行っており、実践的かつ学びの多い内容となっています。

委員の特徴

精神科治療委員会は、精神科単科病院、精神科を有する一般病院、精神科を有していない一般病院など、機能の異なる医療機関に勤務する薬剤師によって構成され、活動しています。

委員会の会議は主にオンラインで開催しており、研修会のテーマ検討に加え、各委員が精神科医療に関する悩みや相談を持ち寄り、意見交換を行う場としても機能しています。また、年に一度は対面での委員会を開催し、懇親会を兼ねて交流を深めています。

県内には精神科を有していない医療機関も多く存在しますが、そうした施設においても向精神薬は日常的に使用されています。当委員会では、幅広い医療機関における精神科医療の質の向上に寄与することを目的として活動しています。

研修会へのご参加とあわせて、当委員会の活動にご協力いただける方も募集しております。専門性の有無は問いませんので、精神科治療にご興味・ご関心のある薬剤師の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております！

(2025年10月31日)